

真偽問題 正しいものは①を、正しくないものは②をマークしなさい。
①、②以外を塗り潰すと誤答になります。

- 問(1) 平均律では、音名の呼び方で、「Gis」と「Ab」は同じ音である。
- 問(2) ピアノ曲「子犬のワルツ」の作曲者は、ショパンである。
- 問(3) ピアノの連弾とは、2人以上の演奏者が、それぞれ1台ずつ演奏することである。
- 問(4) 音楽の3要素とは、旋律と和声と音色である。
- 問(5) 唸りは、干渉という音波の性質に起因する。
- 問(6) ホーキンスのアップライトピアノの発明に関する年は、1819年である。
- 問(7) ピアノの打弦比は、低音部から高音部まで等しい値で設計されている。
- 問(8) ピアノの張力を主に支えるものは、支柱とフレームである。
- 問(9) 響板のクラウンとは、音の伝播率のことである。
- 問(10) 1台のピアノの中では、センターピンの番手は、1種類に統一されている。
- 問(11) ピアノのピッチは、湿度に影響されない。
- 問(12) 音叉のピッチを高くするときには、音叉の先端を削ると良い。
- 問(13) 低音部のオクターブ検査で、短3度：長6度を用いることがある。
- 問(14) 完全5度の音程比は、3：4である。
- 問(15) 37A付近では、1Hzが約8セントに相当する。
- 問(16) アップライトピアノのソフトペダル調整では、ペダルを踏み込んだときに打弦距離が $1/3$ となるようにする。
- 問(17) アップライトピアノのダンパー総上げ調整は、スプーン掛け調整に影響する。
- 問(18) 音の止まりが悪い場合は、必ずダンパーフェルトを交換しなければならない。
- 問(19) ハンマーストップ（バックストップ）は、狭いほど連打性能が向上する。
- 問(20) アップライトピアノのキャプスタンボタンを奥方向に調整すると、働きは大きくなる。
- 問(21) 張弦の際、弦のコイルは、引き上げてから打ち下ろして密着させる。
- 問(22) 高音部の張弦では、1周ひねって張ると音色が華やかになって良い。
- 問(23) アルミ製のルールで、ネジが緩くなった場合は、ハンダを詰めるが良い。
- 問(24) アップライトピアノのハンマースティックは、バットプレートスクリューを緩めて直す。
- 問(25) 消音ピアノを消音状態にして、打鍵時に1鍵だけジャックが脱進できない場合は、ハンマー接近（レットオフ）が基準より狭いと考えられる。

多肢択一（3択）問題

各問から、適切なものを1つ選びなさい。2つ以上選ぶと誤答になります。

問(26) 49Aを楽譜上で表すとき、正しいものを1つ選べ。

1. 高音部譜表（ト音記号の楽譜）で第3間
2. 高音部譜表（ト音記号の楽譜）で第2間
3. 低音部譜表（ヘ音記号の楽譜）で第5線

問(27) 変ロ長調の説明として、正しいものを1つ選べ。

1. 調号は、 \flat が3つである。
2. 属音の音名は、「ホ」である。
3. 平行調は、ト短調である。

問(28) 音波の説明として、正しいものを1つ選べ。

1. 音波の波長と音速は、正比例する。
2. 音波の波長が長いほど、低い音となる。
3. 音波の振幅が小さいほど、高い音となる。

問(29) ピアノの発達史で、人物名と内容の組み合わせが正しいものを1つ選べ。

1. トーマス・ラウド 交差弦
2. ブロードウッド ダブル・エスケープメント
3. エラール ペダル特許

問(30) ピアノの手入れ・使用環境について、記述内容が最も適切なものを1つ選べ。

1. ピアノ保護の観点から、フルカバーの使用が最適である。
2. 床暖房は、ピアノに最適な暖房である。
3. アクリル製樹脂の白鍵にアルコールを使用すると、割れることがある。

問(31) ミュージックワイヤーについて、正しいものを1つ選べ。

1. 工業用のピアノ線と同じものである。
2. 素材は、鋼鉄である。
3. 1台のピアノには、約300本張られている。

問(32) 響板について、正しいものを1つ選べ。

1. 振動伝播速度の速い樹種が選ばれる。
2. 板目になるように木取りする。
3. 比重の大きい樹種が用いられる。

問(33) ピアノの部品の材質として、エゾマツやスプルースについて正しいものを1つ選べ。

1. ハンマーバットやウィッペンに使用される。
2. 支柱やピン板に使用される。
3. 響板や鍵盤に使用される。

問(34) 音速について、正しいものを1つ選べ。

1. 音波が空気中を伝わる時の速度は、常に一定である。
2. 空気と水とスプルースでは、音波の伝播速度は、スプルースが最も速い。
3. スプルースの音の伝播速度は、約3,500m/sである。

問(35) 音律に関する記述として、正しいものを1つ選べ。

1. 純正長音階の主和音の長3度は、386セントである。
2. ミーントーンの完全5度は、純正である。
3. ピタゴラスコンマとは、純正5度を12回繰り返すことによって生じ、約22セントである。

- 問(36) 中音～高音のオクターブの検査音程に用いる長3度：長10度について、正しいものを1つ選べ。
1. 唸りは、1：1が目安である。
 2. 唸りは、1：2が目安である。
 3. 唸りは、1：3が目安である。
- 問(37) 平均律割り振りについて、正しいものを1つ選べ。（基音は37A。音域は、33F～45Fとする。）
1. 33F-45Fを正しく調律したとき、33F-38A#の唸りと38A#-45Fの唸りの速さは一致する。
 2. 33F-37Aの唸りが基準より速い場合、33Fは高めにずれている。
 3. 37A-44Eの唸りが基準より遅い場合、44Eは低めにずれている。
- 問(38) 純正長三和音の正しい音程比を、1つ選べ。
1. 2：3：4
 2. 4：5：6
 3. 5：6：7
- 問(39) セント法について、正しいものを1つ選べ。
1. 1オクターブは、1100セントである。
 2. 平均律完全5度は、700セントである。
 3. セント法は、メルセンヌにより考案された。
- 問(40) 整調手順で、正しいものを1つ選べ。
1. ダンパー始動調整（スプーン掛け）の後に、ダンパー総上げを行う。
 2. ハンマーストップ（バックストップ）作業の後に、鍵盤高さ調整（ならし）を行う。
 3. 鍵盤高さ調整（ならし）の後に、鍵盤深さ調整（あがき）を行う。
- 問(41) アクションの整調工程として、最も関連が深いものを1つ選べ。
1. ハンマー戻り（ドロップ）とハンマーストップ（バックストップ）
 2. 鍵盤深さ調整（あがき）とハンマーストップ（バックストップ）
 3. 打弦距離（ハンマーストローク）とハンマーストップ（バックストップ）
- 問(42) アップライトピアノの連打性能を回復する調整で、正しいものを1つ選べ。
1. ハンマー接近（レットオフ）が広い状態を修正する。
 2. ソフトペダルの遊びを小さくする。
 3. ダンパーペダルの遊びが多い状態を修正する。
- 問(43) アップライトピアノのアクションの働きを大きくする方法として、正しいものを1つ選べ。
1. ハンマーストップ（バックストップ）を広くする。
 2. 鍵盤の深さ（あがき）を深くする。
 3. ダンパー掛り（スプーン掛け）を早くする。
- 問(44) タッチについて、正しいものを1つ選べ。
1. アップライトピアノの同音連打は、1秒間に7回程度可能である。
 2. ダンパーによる止音は、鍵盤の深さを約1／3戻した位置で止音する。
 3. 鍵盤の深さは、すべて10mmに統一されている。
- 問(45) 断線修理に関する記述として、正しいものを1つ選べ。
1. 断線を放置しておく、周囲の断線を引き起こしやすくなる。
 2. 断線を繰り返す場合は、1／2番手太い弦を張ると効果がある。
 3. 弦を張った後は、チューニングピンを打ち込んではいない。
- 問(46) アップライトピアノの部品交換にあたり、全面を接着するものを1つ選べ。
1. ダンパーレバークロス
 2. バットフェルト
 3. バックチェックフェルト

問(47) センターピン交換の方法として、正しいものを1つ選べ。

1. センターピンの選択は、必ずブッシングクロスの硬さを優先する。
2. センターピン交換後、フレンジの走りを点検・修正する。
3. スティックの場合、センターピンにペーパー（やすり）をかけて、トルクを調整する。

問(48) 鍵盤修理について、正しいものを1つ選べ。

1. 白鍵上面（アクリル樹脂製）を剥がす時は、アイロンで加熱する。
2. 黒鍵交換で黒鍵を剥がす時は、カッターナイフを用いて切り離す。
3. フロントブッシングクロス of 鍵盤内部への貼り付け量は、約10mmである。

問(49) 工具について、正しいものを1つ選べ。

1. 音叉は、どんな状況でも振動数は一定である。
2. センターピンと弦を切るカッターは、兼用できる。
3. チューニングハンマーのチップは、チューニングピンに合わせて適宜交換して使用する。

問(50) 消音型のアップライトピアノの点検・調整方法として、正しいものを1つ選べ。

1. 打弦距離は、生ピアノより広く調整する。
2. 鍵盤調整は、生ピアノよりやや硬めに調整する。
3. ハンマー接近（レットオフ）は、消音機構の基準に合わせて調整する。